

Press Release

2014年7月15日

メドピア株式会社

「論文生データの保管期間」について 約3割は、10年以上保管している

医師約70,000人以上が参加する医師専用サイト「MedPeer」（メドピア、<https://medpeer.jp/>）を運営するメドピア株式会社<東京都渋谷区、代表 石見陽（医師）>は、会員医師を対象に「論文生データの保管期間」についてのアンケートを実施し、以下のとおり、結果を取りまとめました。

医師専門サイトMedPeer調査結果：「論文生データの保管期間」について（総回答：3,847人）

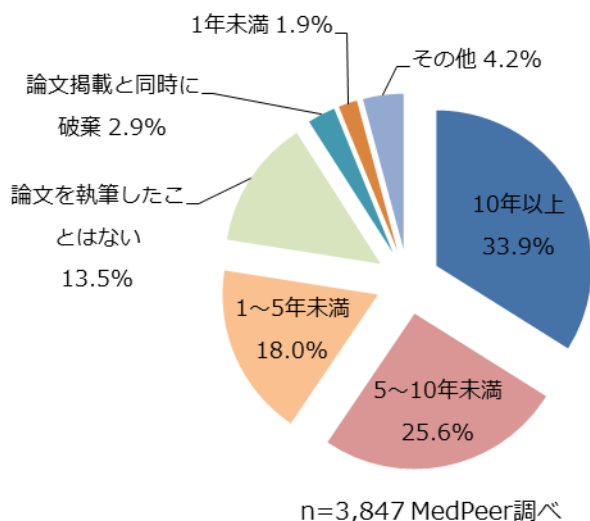
順位	回答	回答数(人)	占有率
1	10年以上	1,305	33.9%
2	5～10年未満	983	25.6%
3	1～5年未満	693	18.0%
4	論文を執筆したことはない	517	13.5%
5	論文掲載と同時に破棄	112	2.9%
6	1年未満	75	1.9%
7	その他	162	4.2%
-	合計	3,847	100.0%

サマリー：

- 医師専門サイトMedPeer（メドピア）に登録する医師（70,000人以上）を対象に「論文の生データはどれくらいの期間保管していますか」という質問をしたところ、3,847件の回答が寄せられた。
- 「10年以上」という回答が最も多く、33.9%だった。段ボール箱よりも、パソコンのHDDやUSBメモリなどデジタルデータで保管しているケースが多い。「なかなか捨てられない」「なんとなく置いてある」といったコメントも散見される。

- 「5～10年未満」は25.6%。「転勤や転居の際、破棄したり紛失したりしている」というコメントがみられた。パソコン機種やOSの変更がきっかけでデータ処分することもあるようだ。
- 「1～5年未満」は18.0%で、「データを保存できるスペースが制限されている」「3年程度たてば論文そのものが古くなる」といった声があった。

▼総合結果



回答コメント（回答一部を抜粋）

「10年以上」 1,305件

- ・複数のパソコン、ハードディスクに保管しています。(50代、血管外科)
- ・基本的に破棄はありません。一部大学に残してます。(50代、脳神経外科)
- ・HDDディスクやUSBメモリで保管しています。データがクラッシュする可能性を考えると、CDやDVDの方が良いのかもしれない。(30代、眼科)
- ・若い頃のデータは10年以上保存していましたが、10年以上たって大学離れると破棄しました。(50代、麻酔科)
- ・基礎的実験の生データはパソコンに入っていれば、そのまま保存している。患者データは研究計画書に基づいて期限がくれば破棄している。(60代、リウマチ科)
- ・特に破棄する理由もないのですべて保管している。(50代、一般内科)
- ・実験ノートなどの生データは所属していた研究室に預けています。個人的なパソコンデータは10年たってパソコンを買い替える時に管理が困難になり破棄しました。(40代、泌尿器科)
- ・苦労の跡。捨てるに捨てられず。段ボール山積みで保存。(40代、消化器外科)

「5～10年未満」 983件

- ・だいたい論文なんて1年もすれば賞味期限切れになるので、1本書いたらすぐつぎのテーマに取り掛かるのが通例。大昔のデータを蒸し返すなどということはしてほしくないな。(40代、精神科)

- ・5年経ったらもう新事実としての価値はないし、重要な事実であればすでに裏付ける新たな論文があるはず。(30代、脳神経外科)
- ・時間を決めているのではなく、パソコン機種とOS変更によってなくなっていきます。(50代、耳鼻咽喉科)
- ・次のテーマに移ったり、引き継ぐ後輩がいなくなった場合にはその時に破棄しています。(30代、産婦人科)
- ・大学で研究していた時には、少なくとも5年は生データを保存しておりました。生データは全て論文に使う訳ではありませんので、後の研究に役立つことができました。(70代、一般内科)
- ・最初の数年は見知らぬ方からメールが来ていましたが、5年も経過すると無くなりました。論文の賞味期限が5年ならばデータの保管も同程度かなと思います。(50代、呼吸器内科)
- ・医学論文が引用されるのはほぼ10年以内なので、10年で区切っています。(60代、一般内科)

「1～5年未満」 693件

- ・引っ越しの時に処分することが多かったです。最長5年くらいです。(50代、整形外科・スポーツ医学)
- ・とくに決めてませんがデータとしての賞味期限が切れたと自覚したら破棄します。(40代、消化器外科)
- ・論文が掲載されて、当分は保存していましたが、施設を退職するときに破棄しました。(40代、一般外科)
- ・5年すぎたものは古いデータとして消去しています。(30代、呼吸器内科)
- ・データは実験を引き継いだ次の研究者の管轄になるわけですが、個人的に保管している実験データは恐らく数年でどこいったかわからなくなるもんじゃないでしょうか、研究を続けていない限りは。(40代、脳神経外科)
- ・学会発表し論文掲載後に問合せなどがあるのが2～3年以内と想定し、5年保管すれば十分と考えています。(50代、泌尿器科)

「論文を執筆したことはない」 517件

- ・生データを残すような論文は書いたことがありません。(70代、整形外科・スポーツ医学)
- ・論文執筆に向けて研究中のため、データの扱いに注意していきたいと思う。(20代、整形外科・スポーツ医学)

「論文掲載と同時に破棄」 112件

- ・論文掲載後廃棄しました。大学院卒業後医局から離れ、保管場所もなかったため。(50代、消化器内科)
- ・論文は追試引用されて価値が出てくるもの。追試も引用文献も無いような論文は無用。生データがあるかないかは問題では無い。(50代、一般外科)
- ・論文掲載とともに破棄してしまいました。手狭で、資料含めてダンボール2箱分ぐらいあったので。パソコン内のデータは残ってます。(30代、循環器内科)

「1年未満」 75件

- ・個人情報であるため、なるべく早く処分するようにしています。(30代、リハビリテーション科)
- ・臨床論文が多いせいもありますが、ほとんど全てのデータは論文掲載後1年以内には破棄しています。(50代、膠原病科)

「その他」 162件

- ・論文を書いた時に所属していた基礎系の研究室が管理しています。(40代、産婦人科)
- ・論文の質、重要度、保管すべきデータの形態（電子化が可能か否か）によって大きく異なります。(40代、感染症科)
- ・あるにはあるが、どこにあるかわからない。保管とはいえませんね。(40代、小児科)

※調査方法

□期間：

2014年5月26日（月）～2014年6月1日（日）

□有効回答：

3,847人（回答者はすべて、医師専門サイトMedPeerに会員登録をする医師）

□設問：

医師専用サイト MedPeer内の「ポスティング調査」コーナーにおいて、医師会員からご投稿頂いたテーマをもとに以下の質問を投げかけました。

調査フォーム（設問文 抜粋）

STAP細胞問題に端を発して、昨今、研究倫理に関する話題が豊富です。

ついには京都大学・山中教授が執筆した14年前の論文にまで話題がのぼり、同教授は会見で、当時の生データを示せないことを謝罪していらっしゃいました。

ノーベル賞やネイチャー誌掲載のような高尚な論文ではありませんが、自分にも動物実験の博士論文を含め十数本の執筆経験があり、今のところ全てのデータを保存しています。しかしマンション暮らし・家族持ちの身では、データを保存できるスペースが制限されていて、この程度の執筆量でもそのデータ管理に苦労しています。

そこで皆さんに質問です。

皆さんは臨床研究を含めて論文執筆をした際、そのデータをどれくらいの期間保存していますか？ 以下の選択肢から適当なものをお選びください。

追伸：

臨床研究では当然生データというと個人情報となりますが、カルテですら5年の保管義務です。研究データも保管義務期間を設けてもらえるとは助かるのではないかと考えますがいかがでしょうか。皆さまのご意見をコメント欄にご入力ください。

-
1. 10年以上
 2. 5～10年未満
 3. 1～5年未満
 4. 1年未満
 5. 論文掲載と同時に破棄論文を執筆したことはない
 6. 論文を執筆したことはない
 7. その他

【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社 管理部 TEL：03-6805-0345 / e-Mail：pr@medpeer.co.jp

【記事掲載に際してのお願い】

- ・「医師専用サイト MedPeer 調べ」、であることの明記をお願い致します。
- ・web 上での引用に際しましては、<https://medpeer.jp> へのリンクをお願い致します。

■ MedPeer (メドピア) とは - 2014年6月時点 -

MedPeer は、メドピア株式会社が運営する、医師専用のインターネットサイトです (URL: <https://medpeer.jp/>)。会員医師同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」などを MedPeer 上に設け、“臨床の決め手がみつかるサイト”として、多くの医師に利用されています。現在の会員は 70,000 人以上で、日本の医師の約 4 人に 1 人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、約 2,000 の医療用医薬品に対して、30 万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。

以上